



## 年休裁判の勝利と成果を確認！ 新委員長に淵上さん選出！ 第39回定期大会成功裡に終了

JR東海労は6月11日、名古屋市内で第39回定期大会を開催しました。

木下委員長は、挨拶で「年休裁判は勝利判決を勝ち取った。慢性的要員不足と5日前勤務指定が糾弾された。大阪訴訟も勝利すると確信している。今後も全力で闘おう」と訴えました。

来賓に、JR総連山口委員長、熊谷書記長、OB会福島会長、前関ヶ原町議会楠議員が出席しました。楠さんの議員ご勇退を慰労するためのセレモニーを開催し、各地本・分会から檄が渡されました。

質疑では、「年休裁判で勝利した。裁判を通じて職場の改善を勝ち取った。他労組組合員から注目されている」「職場と第三者機関を結合させた闘いで、組織の前進と職場改善を勝ち取った」「今春闘で足を引っ張ったJR東海ユニオン指導部に対し、不平・不満が相次いでいる」「業務改革を通じた効率化・安全軽視は許さない」など、積極的な発言が相次ぎました。



本橋書記長は、総括答弁で「わずか1,000円のベアで、怒りが蔓延している。JR東海ユニオン指導部は春闘の妨害者だ。ストップリニア！訴訟の判決があるが、全力で取り組む」と訴えました。

新委員長に淵上利和さんを選出し、大会は成功裡に終了しました。